

鹿病防第15号
平成18年 7月25日

各関係機関の長 様（殿）

病虫害防除所長

平成18年度病虫害発生予察技術情報第5号（大雨による浸冠水後の病害対策）
について（送付）

7月22～23日の県北部地域の大雨とほ場の浸冠水等により、各作物で発生が予想される病害と対策について、以下のとおり取りまとめましたので送付します。

1 普通期水稻

（1）白葉枯病，紋枯病，いもち病

白葉枯病は，過去に発生した地域では発病が懸念されるので，できるだけ早くいもち病との同時防除を行う。紋枯病は今後の発生に注意し，上位葉梢への進展を防ぐ。

（過去に白葉枯病の発生を確認した地域：栗野，吉松，大口，菱刈，霧島，国分）

2 野菜・花き類

（1）野菜・花き類共通

冠水や滞水したほ場では，排水対策を早急に行うとともに，付着した泥等の洗い流しを兼ねて殺菌剤の散布を行う。また，細菌性病害の発生も懸念されるので注意する。

（2）根深ネギでは，軟腐病の発生が懸念される。また，疫病，白絹病の発生にも注意する。

（3）イチゴでは，疫病の防除を早急に行う。特に「さがほのか」では注意する。

（4）ニガウリでは，つる枯病，炭疽病，細菌性病害の発生が懸念される。

（5）サトイモでは，軟腐病，疫病の発生が懸念される。

（6）露地ギクでは，褐斑病，黒斑病，花腐病の発生が懸念される。

3 果樹・茶樹

（1）カンキツ共通：黒点病，かいよう病

降雨により発生が増加するため補完的に薬剤散布を行う。

（2）極早生温州：褐色腐敗病

土壌中の病原菌が雨滴により，樹上の果実に跳ね上がり感染する。発病が突発的で急激に進展するため，果皮の成熟に伴い地面近くの果実での発生に注意する。

（3）ブドウ：べと病，褐斑病

落葉を防ぎ園内の菌密度を下げるために収穫後も防除を徹底する。

（4）茶樹

排水対策を行い，付着した汚れを洗い流し，病害の発生に備え予防散布を行う。